



すゝめ

患者さんと慶應義塾大学病院をつなぐ
コミュニケーションマガジン



人生に寄り添う、腎・内分泌・代謝のチーム医療

腎・内分泌・代謝疾患の多くは慢性疾患です。

医師、看護師、管理栄養士らが連携した多職種チームにより、

合併症発症予防から専門的治療、

疾患背景となる生活習慣のサポートまで包括的な診療を目指します。

K E I O
UNIVERSITY
HOSPITAL
.....
Communication
Magazine

Vol. 27
March 2026

ご自由に
お持ちください

広報誌タイトル「すゝめ」とは

タイトルは明治5年から9年にわたって出版された17編を数える
福澤諭吉の大ベストセラー『学問のすゝめ』に因んでいます。

慶

應義塾大学病院腎臓・内分泌・代謝内科は、腎臓・内分泌・代謝疾患の診療を行っております。対象疾患の多くが慢性疾患であり、また生活習慣が深く関連する病態を多く含むため、多職種チームによる継続的な診療と支援を大切にし、医療チームが患者さんの人生を通じた伴走者を目指しております。

【腎臓領域】

腎

不全へと進行する長い経過を見据え、看護師や管理栄養士と協力しながら、患者さんの一人ひとりの経過に寄り添い、より良い治療と生活支援を提案したいと考えております。検尿異常から腎炎が疑われる場合には、腎生検による精密検査を実施し、病理医と連携して診断の確定と適切な治療方針の決定につなげます。また、遺伝性腎疾患については、臨床遺伝学センターと協働し、将来を見

人生に寄り添う腎・内分泌・代謝医療 —多職種連携による包括的診療体制

腎臓・内分泌・代謝内科 医師
はやし かおり
林 香



据えた専門的な診断と十分な説明・カウンセリングを行っています。腎臓病患者さんに多くみられる心血管疾患などの合併症についても、関連診療科と連携しながら適切な治療を行います。病期の進行により末期腎不全に至ってしまった場合には、血液透析や腹膜

透析、腎移植などの腎代替療法を提供し、患者さんの生活や価値観に沿った治療選択を支援しております。

【内分泌領域】

ホ

ルモン分泌の低下や過剰、ホルモン分泌を司る臓器の腫瘍の診療を行っており、視床下部・下垂体、甲状腺・副甲状腺、甲状

腺、副腎、性腺、骨など、関連する臓器は多岐にわたります。病気の原因も腫瘍、炎症、自己免疫、出血、薬剤、遺伝的素因などさまざまであることから、

正確な診断のための安全な検査を心がけています。内分泌疾患の治療には薬物療法以外にも手

術療法やアイソトープ治療が必要となることがあるため、院内の他診療科と連携しながら診断や治療を行っています。具体的には、視床下部・下垂体疾患においては脳神経外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科と、甲状腺疾患では耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科と、副腎疾患においては泌尿器科、放射線診断科と、

骨代謝疾患においては整形外科と協同で診療を行っているほか、小児科や産婦人科と連携して内分泌疾患の方の移行期医療や周産期医療も積極的に実施しており、高度専門医療機関ならではの網羅的な診療体制を構築しております。

【代謝領域】

糖

尿病、肥満症、脂質異常症などが代表的な疾患であり、心腎脳血管疾患や癌、認知症の予防のために重要な領域です。後述の糖尿病先制医療センターを中心に、

多職種での連携の下、新しい試みを次々と行っています。2026年の春から保険適用のない方においても持続血糖測定器を選定療養として提供できるようにいたします。また、

全国に先駆けて内科外来に眼底検査機を設置し、患者さんの通院負担を軽減しながら合併症評価を行える体制を確立いたします。1型糖尿病では専門外来を中心に先端的な機器を利用した治療を提供できるよう心がけています。2型糖尿病では、外来診療に加えて週末を利用した「糖尿病先制医療入院」を開始いたします。肥満症においては肥満薬物治療を保険診療の枠内で提供しています。

疾患発症の超早期から患者さん各々の特性に合った介入を行い、疾患の発症を予防することを目指して、患者さんをあらゆる面から支援してまいります。



地域医療連携

地域の医療機関と安心のつながりづくり

医療連携の事務部門では、地域医療連携機関との連携強化を行い、かかりつけの医療機関から当院への速やかな受診をサポートするとともに、当院治療後、日常の治療を受けてくれるかかりつけ医のご紹介も行っています。実際の業務は、地域医療機関から診療情報提供書依頼、患者さん

の他院受診の予約取得、かかりつけ医療機関のご紹介などです。また、医療機関とのメディカルパートナーシップの締結や、他院と密な連携がとれるように「医療連携推進フォーラム」の開催（年3回）、広報誌の作成などの広報活動により、地域医療機関向



けに当院の取り組みも発信しています。セカンドオピニオン外来事務局では、患者さん自身が最善の治療を選択するためのお手伝いもしています。

入退院支援・療養支援

入院前から退院後までの暮らしをサポート

入院前の暮らしを事前にお伺いすることで安全に検査や治療が行えるよう整え、かかりつけ医やケアマネジャーなどとも連携しながら、安心して住み慣れた地域へ戻るお手伝いをしています。また、当院での治療を続ける中で、医療費の不安や社会復帰、

療養先の選択など、さまざまな心配ごとが生じることもあると思います。主治医や病棟・外来の看護師と共に、当部署のソーシャルワーカーや看護師が地域の支援者と協働しながら、解決に向けて患者さん・ご家族と一緒に考えてまいります。



医療連携推進部では、入院される患者さんの「入院生活」と「退院後の生活」をみすえて、看護師・ソーシャルワーカー・薬剤師・管理栄養士などの多職種がさまざまな支援を行っています。

特集 患者さんをチームで支える医療連携の取り組み

当院では、医療連携推進部を中心に、院内各部門および地域の医療機関と連携・協力しながら、入院前から退院後も含めて患者さんを支える体制をとっています。かかりつけ医紹介や入退院支援、生活支援、がん相談などを専門スタッフが担当し、安心して治療を継続しながら生活できるよう、多職種でサポートしています。



病床管理

入院を安心して迎えるための病室調整

当院では、患者さんに適切な医療を提供することを大切にしながら「病床管理（ベッドコントロール）」を行っています。これは、医師や看護師、専門スタッフが連携し、病状や治療内容、ご希望に合わせて入院するお部屋を調整する仕組みです。急に体調が悪くなった患者さん

の緊急入院を含め、当院のベッドを必要としている患者さんをスムーズに受け入れられるよう、日々調整しています。必要に応じて入院中の転室などの調整も行います。また地域の「かかりつけ医」や関連病院とも密に連携し、患者さんが安心して治療に



専念できる治療の場所を整えています。お部屋の種類や入院生活についても、病床管理担当のスタッフがいつでもご相談に応じます。

看護専門領域

専門性の高い看護師が支える暮らし

認定看護師、安全な食事を支える摂食・嚥下障害看護認定看護師、がん性疼痛・緩和ケア認定看護師、がん看護専門看護師、臓器移植を専門とする移植コーディネーターが在籍しています。それぞれが専門的な知識と技術を活かして質の高いケアを提

供し、患者さんの状況に応じたサポートを行っています。「自分らしい生活を続けたい」「自宅での処置が不安」——そのような思いに寄り添い、入院中から退院後まで地域と連携しながら、病気と共に歩む皆さまの暮らしを支えています。



医療連携推進部には、高度な専門知識を持つ看護師が所属しています。心のケアを担う精神看護専門看護師、人工肛門・人工膀胱（ストーマ）や傷・排泄のケアを行う皮膚・排泄ケア

2026年度の外来診療日の変更について

2026年4月29日(水)、8月11日(火)、9月23日(水)、11月3日(火)、2027年1月11日(月)、2月11日(木)は祝日ですが、**外来診療日**といたします。また、2026年8月29日(土)、10月31日(土)、2027年1月30日(土)は第5土曜日ですが、**休診日**となりますのでご注意ください。

一部受付場所の変更について

2月24日(火)より、文書受付・検査予約窓口が「1号館1H受付」へ、外来予約窓口が「1号館1階受付」へ移転しました。

また、3月19日(木)より、2A・2B・2C外来の診察前の受付場所が「1号館2H受付(新設)」にまともりました。

*2A・2B・2C外来で初診予約・予約外受診をご希望の方は、これまでどおり各診療科受付へお越しください。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。



1号館1H受付



1号館1階受付

患者サロン

がん患者さん・ご家族を対象に「患者サロン」を開催しています。テーマごとの講義に加え、スタッフ・参加者同士の情報交換を行っています。ハイブリッド(オンライン・会場)開催となっております。

皆さまのご参加をお待ちしています。

【2026年度開催予定】

- 第1回 2026年6月 「テーマ:食事の工夫」
- 第2回 2026年9月頃 「テーマ:AYA世代の集い」
- 第3回 2026年11月頃 検討中
- 第4回 2027年2月頃 「テーマ:仕事と治療の両立」



▲最新情報は
こちらからご
確認ください

職員の名札表記について

慶應義塾大学病院では、ご利用いただく皆さまにとって職員の名前や職種が分かりやすくなるような表記にするとともに、職員のプライバシーを保護し安心・安全に働くことができる環境を整えるため、2026年2月より段階的に職種と苗字(ひらがな・ローマ字)のみの表記の名札を導入しています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

アンケートにご協力ください

こちらのQRコードからアンケートにアクセスしていただき、
広報誌すゝめで読んでみたい記事など、ぜひご意見をお聞かせください。



COLUMN

2025年度患者調査への協力御礼



▲詳細はこちらから
ご確認ください

	家族や友人 知人に薦める 推奨度 (10点満点)	当院の 総合評価 総合点 (10点満点)
外来再診	8.69	8.78
外来初診	8.54	8.63
入院	9.03	9.05

2025年度の患者調査では外来(再診・初診)・入院合わせ9492人の方々にご協力をいただきました。感謝や期待が込められたご意見はスタッフのモチベーション向上に繋がっています。一方で環境・運用・接遇に対する具体的なお指摘や厳しいご意見もいただきました。病院全体の課題と捉え、運用の変更など、幅広い視点からの改善に向けた取り組みを、着実に進めていきます。患者さんと病院スタッフの双方向のコミュニケーションを大切にし、より推奨される病院となるよう努めてまいります。ご協力ありがとうございました。

〈受付時間・休診日〉

外来診療時間 8時40分～12時00分、13時00分～16時00分
面会時間 ※面会は医療上必要な場合に制限させていただいております。
詳しくは病院のウェブサイトをご覧ください。

休診日 日曜日、第1・3土曜日/国民の祝日・休日/年末年始(12月30日～1月4日)
※その他、2026年度の外来診療日については上記Informationをご確認ください。

〈診療担当医表〉

このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと診療担当医表がご覧になれます。なお病院入り口脇の電子掲示板にも掲載しています。

